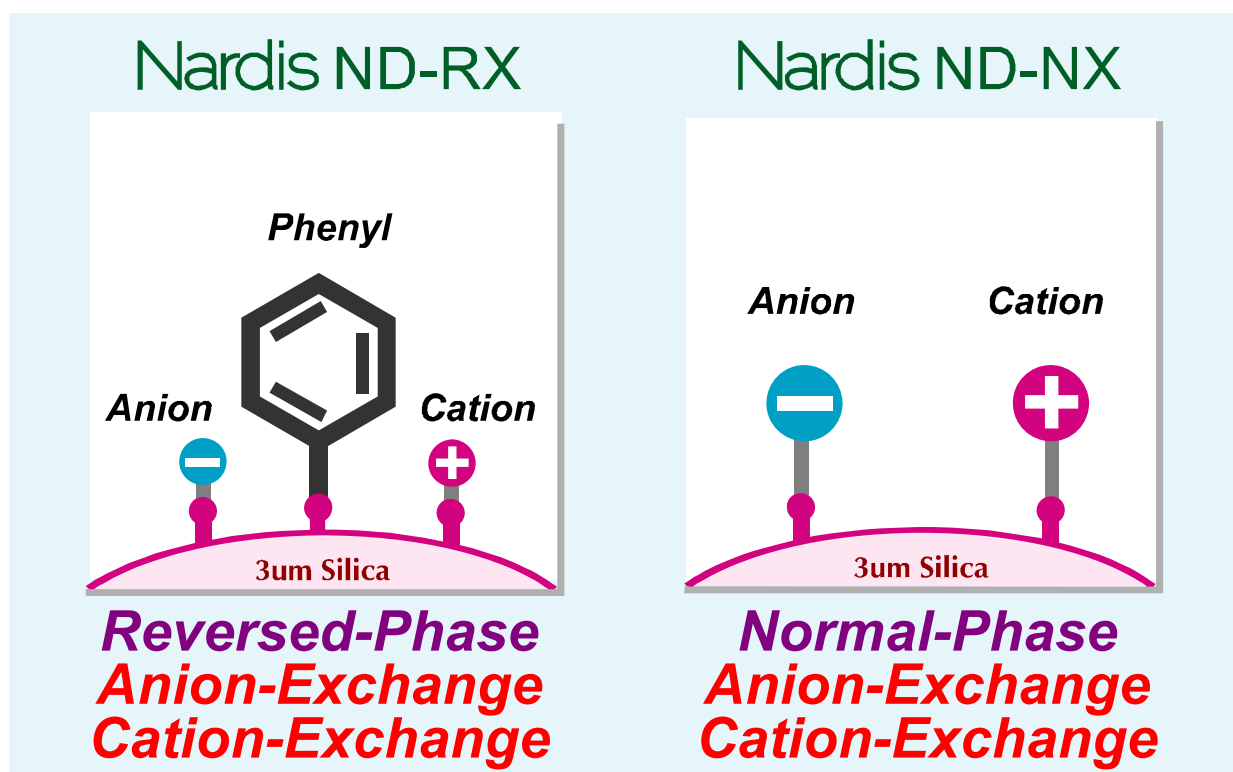


Nardis ND-RX
Nardis ND-NX

HPLC COLUMN NOTE

Nardis 固定相の表面構造



Nardis (ナーディス) カラムシリーズには以下のような二種類の表面構造があります。

[Nardis ND-RX]

全多孔性シリカ表面にフェニル固定相と両イオンリガンドを修飾した「逆相+両イオン交換」カラムです。

従来のフェニル固定相などの逆相モードで分離困難な化合物の分離改善を目的として設計されています。

フェニル固定相のπ電子に加えて、両イオンリガンド由来の電荷や静電的相互作用が加算された相互作用は、従来の逆相カラムとは異なる分離選択性を与える可能性があります。

アセトニトリルなどの有機溶媒に加えて移動相pHとイオン強度を変化させることにより、従来カラムとは異なる分離挙動を得ることが可能です。

[Nardis ND-NX]

全多孔性シリカ表面に両イオンリガンドを修飾した「順相+両イオン交換」カラムです。

従来のシリカやアミノ固定相では扱いにくかった高極性化合物の保持や分離に有効性があります。

アセトニトリル濃度を低下(順相モード)させながら、水系移動相の比率やpH, イオン強度の変化により溶出させることができます。